



平成20年11月11日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 (東証・大証第一部)
 代 表 者 代表取締役社長 福井 秀明
 問 合 せ 先 執行役員 財務部長 小島 眞也
 TEL (06)6538-7724

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第2四半期におきまして、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせするとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 連結業績予想数値の修正

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年5月16日発表)	65,000	△ 1,200	△ 1,700	△ 1,700	△ 13.32
今回修正予想 (B)	67,860	△ 70	△ 370	△ 7,320	△ 57.15
増減額 (B-A)	2,860	1,130	1,330	△ 5,620	
増減率 (%)	4.4	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	70,622	△ 1,622	△ 2,129	△ 922	△ 7.23

平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年5月16日発表)	160,000	2,000	1,000	500	3.92
今回修正予想 (B)	156,000	1,000	100	△ 16,700	△ 128.82
増減額 (B-A)	△ 4,000	△ 1,000	△ 900	△ 17,200	
増減率 (%)	△ 2.5	△ 50.0	△ 90.0	-	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	166,893	△ 1,918	△ 3,091	△ 12,963	△ 101.59

2. 個別業績予想数値の修正

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年5月16日発表)	28,000	△ 1,300	△ 1,100	△ 800	△ 6.27
今回修正予想 (B)	31,110	110	340	△ 7,920	△ 61.83
増減額 (B-A)	3,110	1,410	1,440	△ 7,120	
増減率 (%)	11.1	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	30,901	△ 1,889	△ 1,558	△ 494	△ 3.87

平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年5月16日発表)	68,000	200	100	300	2.35
今回修正予想 (B)	71,000	200	100	△ 14,800	△ 114.17
増減額 (B-A)	3,000	0	0	△ 15,100	
増減率 (%)	4.4	0.0	0.0	-	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	71,992	△ 3,660	△ 3,533	△ 18,106	△ 141.89

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結結果計期間連結業績予想修正の理由

売上高につきましては建設部門で選別受注に伴い減少したものの、原材料高騰に対する価格改定の浸透が進んだ結果、鉄管・機械部門などで増収、営業利益、経常利益につきましても建設部門で減少したものの、個別の鉄管・機械・建材部門の増加がこれを上回り、前回発表予想から増益となる見込みであります。一方、以下の特別損失を計上することにより、結果として7,320百万円の四半期損失の見込みであります。

〈特別損失の内訳〉 百万円

項目	金額	内訳
貸倒引当金繰入	3,103	栗本建設工業㈱にて発生した不良債権処理
事業再編損失	2,419	栗本建設工業㈱にて会社分割に伴う販売用不動産の再評価実施
有価証券評価損	537	保有有価証券の評価損失
土地減損損失	248	当社保有不動産の減損
その他	562	
計	6,869	

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、鉄管部門ならびに機械・建材部門で増加する見込みとなる反面、選別受注を実施している建設部門、受注見込みが厳しい鉄構・橋梁部門の減少がこれを上回り減収、営業利益、経常利益もこの影響により前回発表予定から減益となる見込みであります。

また、以下の特別損失を計上することにより、結果として16,700百万円の当期純損失の見込みであります。

〈特別損失の内訳〉 百万円

項目	金額	内訳
事業再編損失	10,700	栗本建設工業㈱にて事業再編に伴う損失見込み
貸倒引当金繰入	3,103	栗本建設工業㈱にて発生した不良債権処理
有価証券評価損	1,780	保有有価証券の評価損失見込み
土地減損損失	248	当社保有不動産の減損
その他	800	
計	16,631	

(3) 第2四半期個別累計期間個別業績予想修正の理由

原材料高騰に対する価格改定が浸透した鉄管部門や堅調な推移が続く機械・建材部門が牽引力となり、前回発表予想から増収となる見込みであります。また、これにより営業利益、経常利益につきましても増益となる見込みであります。

一方、以下の特別損失を計上することにより、結果として7,920百万円の四半期純損失の見込みであります。

〈特別損失の内訳〉 百万円

項目	金額	内訳
関係会社株式評価損	5,000	栗本建設工業㈱の業績から判断して実施
貸倒引当金繰入	2,677	栗本建設工業㈱の業績から判断して貸付金に対して引当繰入
有価証券評価損	527	保有有価証券の評価損失
土地減損損失	248	当社保有不動産の減損
その他	234	
計	8,686	

(4) 通期個別業績予想修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては前回発表予定数値の水準で推移する予定ですが、以下の特別損失を計上することにより、結果として14,800百万円の当期純損失の見込みであります。

〈特別損失の内訳〉 百万円

項目	金額	内訳
事業再編損失	5,700	栗本建設工業㈱の事業再編に伴う損失見込み
関係会社株式評価損	5,000	栗本建設工業㈱の業績から判断して実施
貸倒引当金繰入	2,677	栗本建設工業㈱の業績から判断して貸付金に対して引当繰入
有価証券評価損	1,770	保有有価証券の評価損失見込み
土地減損損失	248	当社保有不動産の減損
その他	260	
計	15,655	

4. 今後について

当社グループは平成20年4月よりグループ全体で事業再編を推進しており、外部とのアライアンスも含めて、事業をまたいだビジネスモデルごとに集約した組織に再編することにより、不採算事業からの撤退、成長事業への経営資源の集中、ガバナンスの強化と部門横断的な人事を実施することにより、バランスのとれた持続的な成長をめざしてまいります。

今般の栗本建設工業株式会社に関する不良債権・引当金処理などの実施はその一環であり、大幅な損失の計上を予定いたしておりますが、グループ全体で更なる事業再編の加速ならびにマグネシウム合金などの新素材をはじめとする研究開発・商品化にも注力した上で、平成21年度からの本格的な業績の回復につとめる所存であります。

また、現在当社グループは平成21年度を起点とする「新中期3カ年経営計画」を策定中であり、引き続きガバナンス・品質管理体制の強化、業務運営の効率化、意思決定の迅速化を推進し、企業価値の向上につとめてまいります。

以 上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。